2020 年 2 月 23 日

2020 年度成蹊学園サッカーフェスティバル開催実施報告

成蹊大学体育会蹴球部 2020 年度 OB 担当 中田修平

（成蹊学園サッカーフェスティバル責任者）

2020 年 2 月 23 日(日)成蹊大学サッカー場にて 2020 年度成蹊学園サッカーフェスティバルを実施致しました。当日は学生、OB、OG 合わせて総勢約 170 名の方々に参加していただきました。

当日は朝早くから大学生を中心に準備を進めて参りました。日頃からお世話になっている関係者の皆様の為に、全員進んで準備を行なっておりました。

【テントの組み立て準備】

【マネージャーによる率先した準備】

開会式では御厨会長から「怪我をせず、今日という 1 日を楽しんで欲しい。」という内容の開会の挨拶をして頂きました。また、大学蹴球部主将の小松崎から、「縦のつながりをより深めていけるようなフェスティバルになるようにしましょう。」といった挨拶を頂きました。

【御厨会長のお言葉】

【大学蹴球部主将小松崎の挨拶】

また、来ていただいた方全員揃っての記念写真の撮影を行いました。

【集まっていただいた方々全員による記念撮影】

開会式終了後のレクリエーションでは手繋ぎ鬼、ドリブルリレー、ミニゲームを行いました。

企画担当の進行が上手くいき、全種目で例年以上の盛り上がりを見せ、小学生、中学生、高校生、大学生全員が楽しむことができていました。

また、ドリブルリレーとミニゲームの優勝者には優勝商品があり、獲得することが出来たチームの活躍はとても印象に残りました。

【ドリブルリレー】

【ミニゲームにて】

【企画担当による進行】

【優勝チームによる記念撮影】

　次に中学生対高校生、高校生対大学生のフルコートでの試合を行いました。
中学生対高校生は　　中学生(0-3)高校生
高校生対大学生は　　高校生(0-3)大学生　で終了致しました。
両試合共に点差程の差はなく、実力が拮抗、白熱した試合展開となりました。

【中学生×高校生による撮影】

【高校生×大学生による撮影】

最後に OB の方々を交え、ハーフコートマッチと OB 戦を行いました。

【OB の方々による記念撮影】

様々な年代に集まっていただいたため、試合結果の予測が全くつきませんでした。
結果は 4-4 の引き分けでした。得点の取り合いになり、両チーム共に前線の奮闘が非常に目立つ試合となりました。

また、本日のフェスティバル運営で活躍し開会式での司会を務めた大学新 4 年多田から当日の総括を頂けた為記載させて頂きます。

「年に一度のフェスティバルという事で全力で、準備をさせていただきました。小学校、中学校、高校、大学の仲を深めるためミニゲームや、レクリエーションを行った他、全世代混合チームで、ハーフコートゲームも行いました。特にハーフコートゲームでは大きな盛り上がりを見せ、世代間の繋がりをより深くすることができたと思います。OB 戦では様々な

年代の OB と、現役大学生も参加し、みんなで楽しく汗を流すことができました。試合後、参加した部員は若手 OB の方と握手させていただいている場面も見られ、私自身とても嬉しく感じました。今年度も大きな問題なく成蹊学園サッカーフェスティバルを行うことができ、主催者として安心したのとともに、今回のような全員が楽しめるようなフェスティバルに出来た事に達成感を感じました。」

【開会式で司会を務めた大学新 4 年多田】

今回のフェスティバルでは、レクリエーションや、対抗試合を通じて繋がりをより一層強化することができました。また、フェスティバル開催にあたり、多くの OB、OG の方々、小学校、中学校、高校サッカー部の顧問の先生方にご協力いただきました。心より御礼申し上げます。
来年度以降も、多くの OB、OG の方々、学生に引き続き御参加いただければ幸いです。
今後とも、皆様からの温かいご支援、ご声援のほど、宜しくお願い致します。

以上